

## 問3 1. 直近1年間のプロスポーツ等観戦の有無（SA）

## ■「観戦した」は微減、「観戦したことはない」は微増

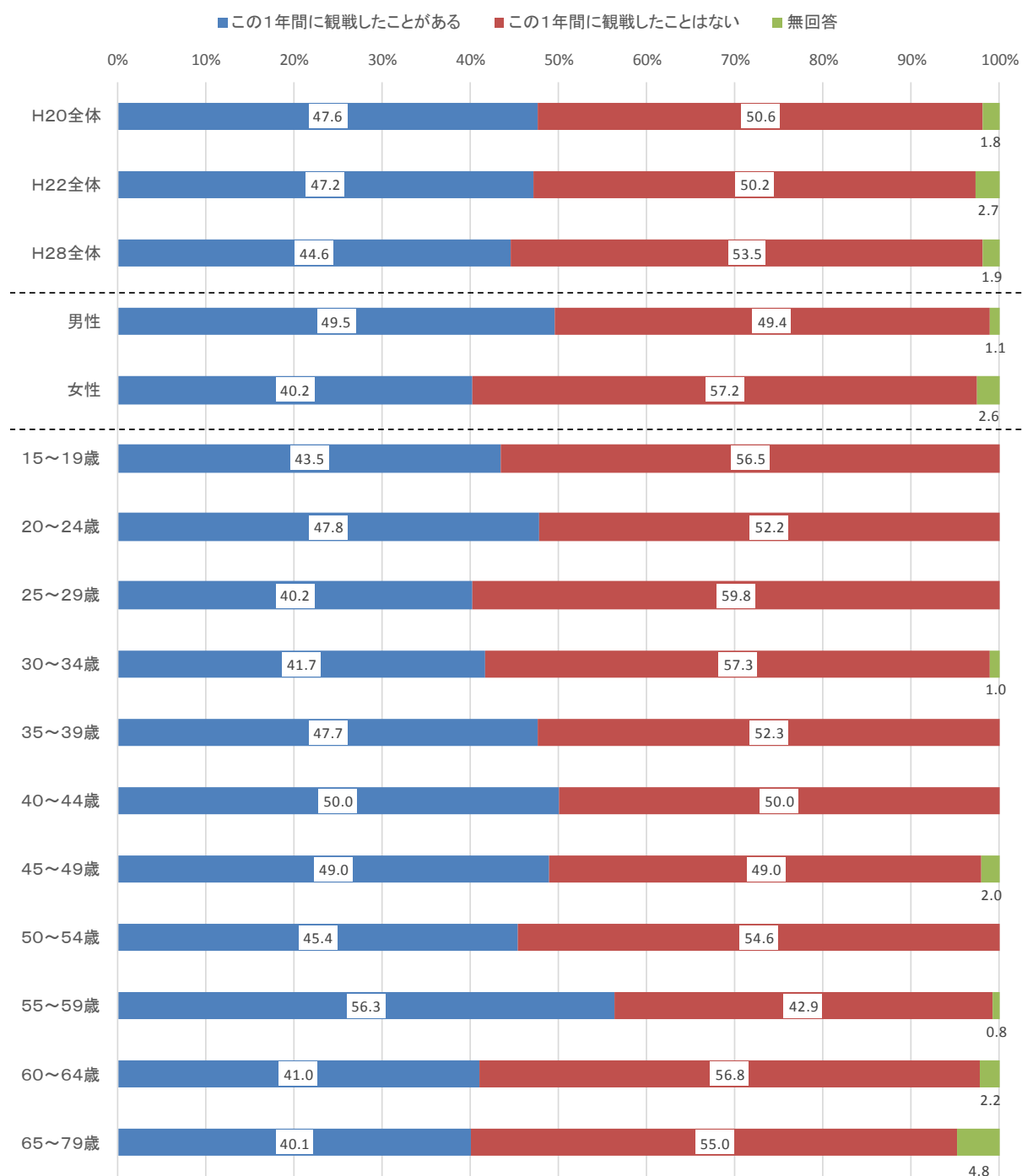
## ■男性で「観戦した」が5割

## ■特定の年代で「観戦した」の割合が高い

○全体で見ると、今回は「観戦したことがある」（44.6%）が過去2回に比べわずかに減少。「観戦したことはない」（53.5%）は微増だが、割合としては過去最大値となっている。

○男女別に見ると、男性の方で「観戦したことがある」（49.5%）が高く、5割となっている。

○年代別で見ると、20～24歳、30代中盤～50代後半までの層で「観戦したことがある」の割合が高く、中でも55～59歳では5割を大きく超えている（56.3%）。25～29歳では「観戦したことがない」が6割となっている（59.8%）。



【 H20: N=1,143 H22: N=1,317 H28: N=1,444 】

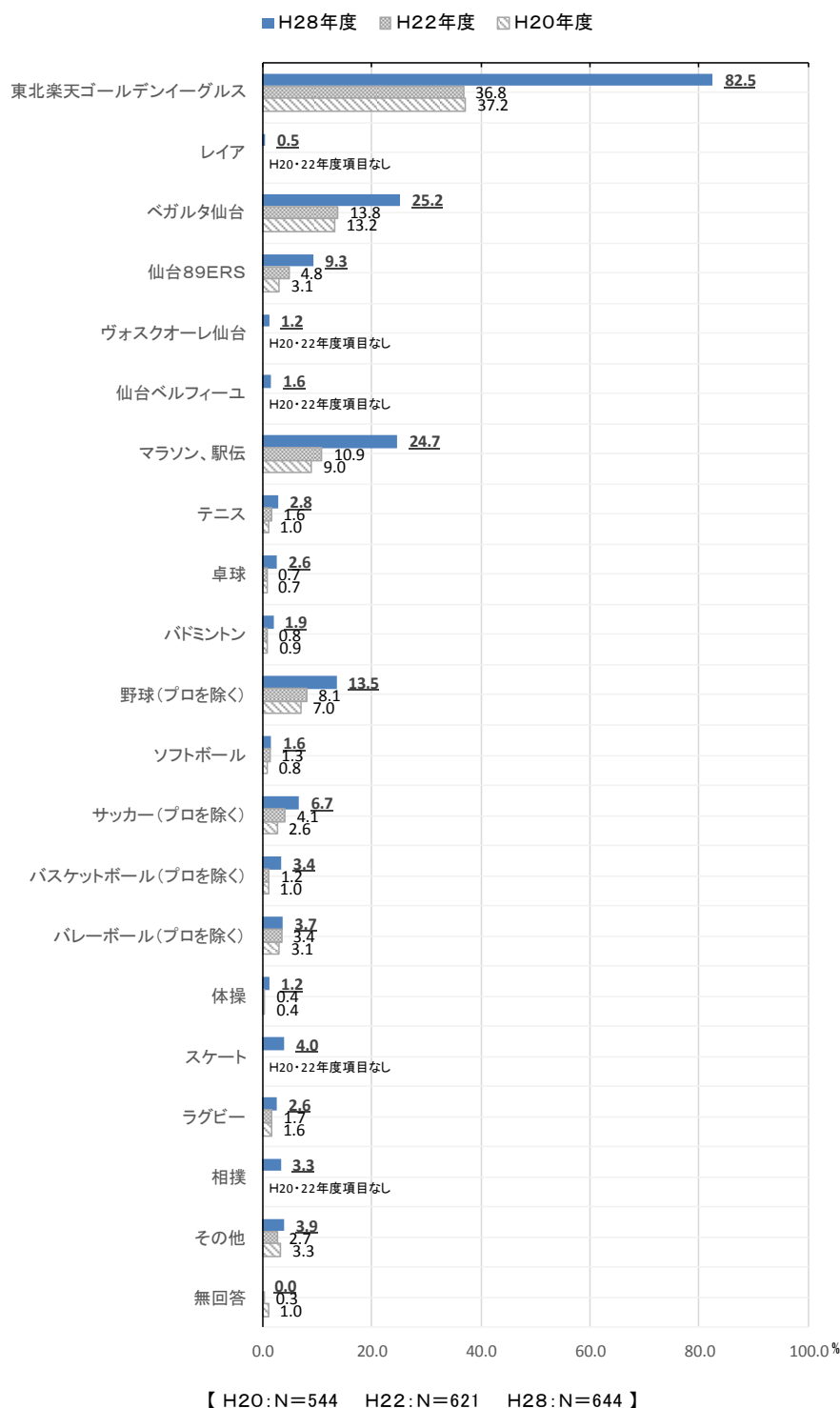
## 問32. 直近1年間で観戦したスポーツの種目（MA）

## ■「楽天」が8割を超えている

## ■「ベガルタ」以外に、「マラソン、駅伝」人気も高い

※当設問は実施年度により選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

- 今回は「東北楽天ゴールデンイーグルス」の支持割合が飛び抜けて高く、8割を超えている（82.5%）。  
 ○その他項目を見ると、「ベガルタ仙台」（25.2%）、「マラソン、駅伝」（24.7%）が上位ではあるものの、「東北楽天ゴールデンイーグルス」との差は大きい。また、企業チームの他、スポ少なども考えられる「野球（プロを除く）」（13.5%）も一定以上の支持割合となっている。

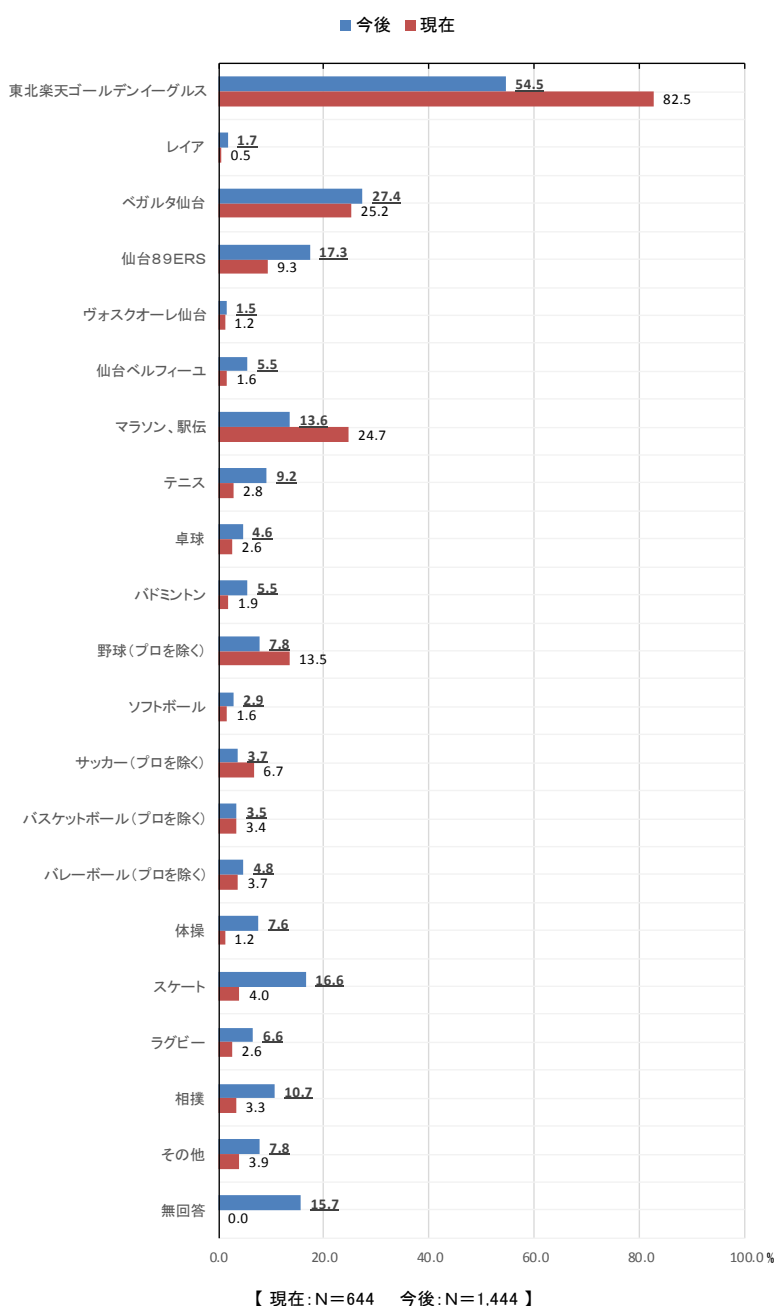


## 問33. 今後観戦したいスポーツの種目（MA）

- 今後の観戦希望も「楽天」が1位、「ベガルタ」も順当に2位
- 観戦率が高かった「マラソン、駅伝」は、観戦希望では支持割合が低い
- 「89ERS」、「スケート」は観戦希望の割合が高い

当設問（今後）では、前問32の結果（現在・P46参照）と併せて分析を行っている。

- 観戦率が極めて高かった「東北楽天ゴールデンイーグルス」は割合こそ低下したものの、観戦希望の割合でも5割を超え（54.5%）1位となっている。
- 観戦率2位の「ベガルタ仙台」は観戦希望の割合も2位となっている（27.4%）。一方、観戦率3位の「マラソン、駅伝」は現状の観戦率に比して今後の観戦希望の割合がかなり低い（13.6%）。
- 観戦率が低かった「仙台89ERS」（17.3%）と「スケート」（16.6%）は、メジャーな競技で、地元チームと著名選手の輩出という特徴があるためか、観戦希望率が高くなっている。また割合こそ低めだが、「相撲」（10.7%）、「テニス」（9.2%）、「体操」（7.6%）の観戦希望率も比較的高い。



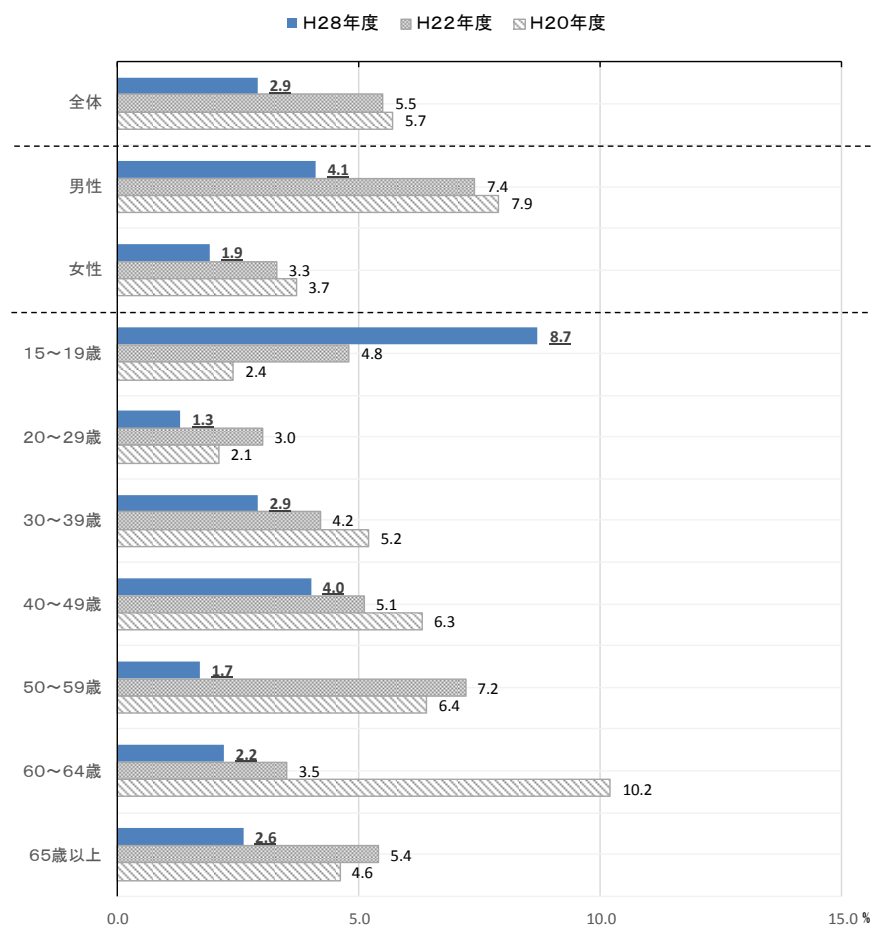
## 問34. スポーツボランティア活動への参加経験（SA）

- 元々少ない参加経験者比率は、今回さらに低下
- 男性で前回からの下がり幅が大きい
- 15～19歳の層で過去最高・年代別最高の割合

- 全体で見ると、元々の参加経験者比率がかなり少ない状況下、今回はさらに少なく（2.9%）、過去2回の半分ほどの割合となっている。
- 男女別に見ると、双方とも過去2回よりも参加経験者比率は低下しており、特に男性の前回からの下がり幅が大きい（H22年度：7.4%・H28年度：4.1%）。
- 年代別で見ると、最も若い15～19歳の層で、今回の参加経験者比率が過去最高を記録している（8.7%）。これは今回の全年代中最多であり、過去2回の結果全ての数値を含めても2位に相当する。
- 50～59歳の層は今回の参加経験者比率が低く（1.7%）、前回（H22年度：7.2%）からの下がり幅が全年代中で最も大きい。

※当設問では「活動したことがある」のみを抽出し、集計、作表、分析を行っている

	H28年度		
	活動したことがある	活動したことはない	無回答
全体	2.9%	94.7%	2.4%
男性	4.1%	94.1%	1.8%
女性	1.9%	95.2%	2.8%

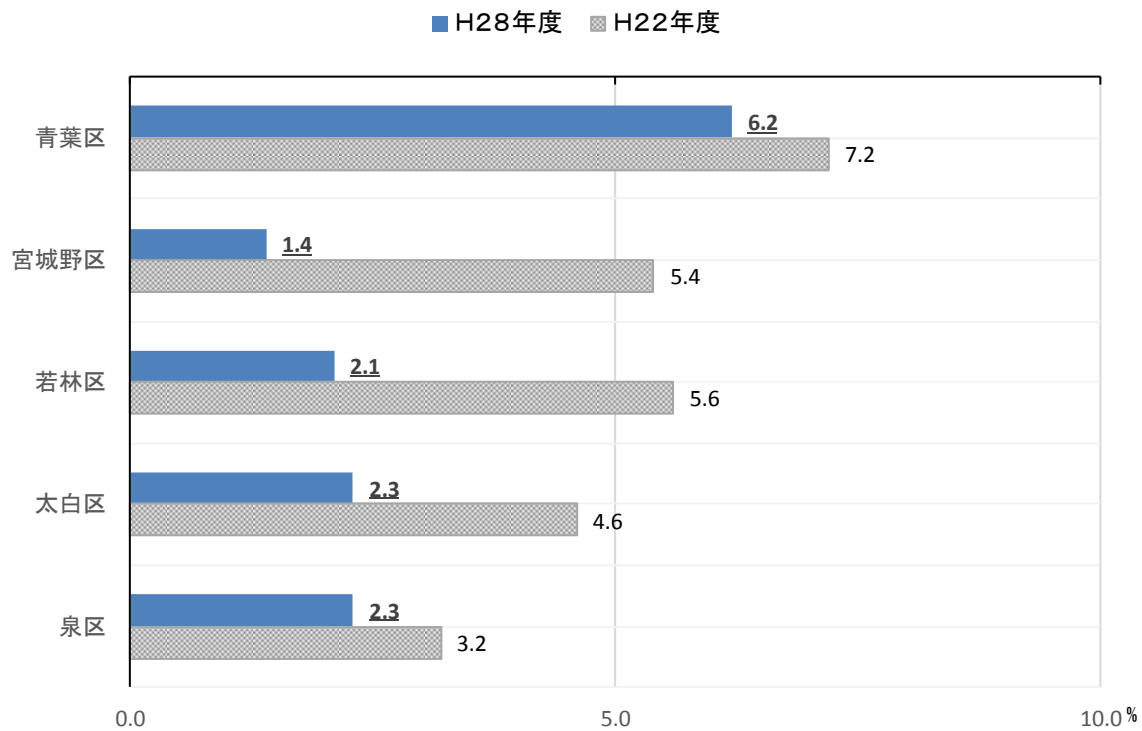


【 H20: N=1,143 H22: N=1,317 H28: N=1,444 】

※「活動したことがある」のみを抽出したグラフである

### スポーツボランティア活動への参加経験 ～ 居住区別の比較 ～

- 前回（H22 年度）は居住区ごとの割合に高低の差が見られたが、今回の場合は「青葉区」（6.2%）以外の4区は全て低く、ほぼ同等の割合（1～2%台）となっている。
- 前回3位（H22 年度：5.4%）だった「宮城野区」は今回（1.4%）最下位となっており、前回からの下がり幅が全5区中で最も大きくなっている。



【 H22：N=1,317 H28：N=1,444 】

※「活動したことがある」のみを抽出したグラフである

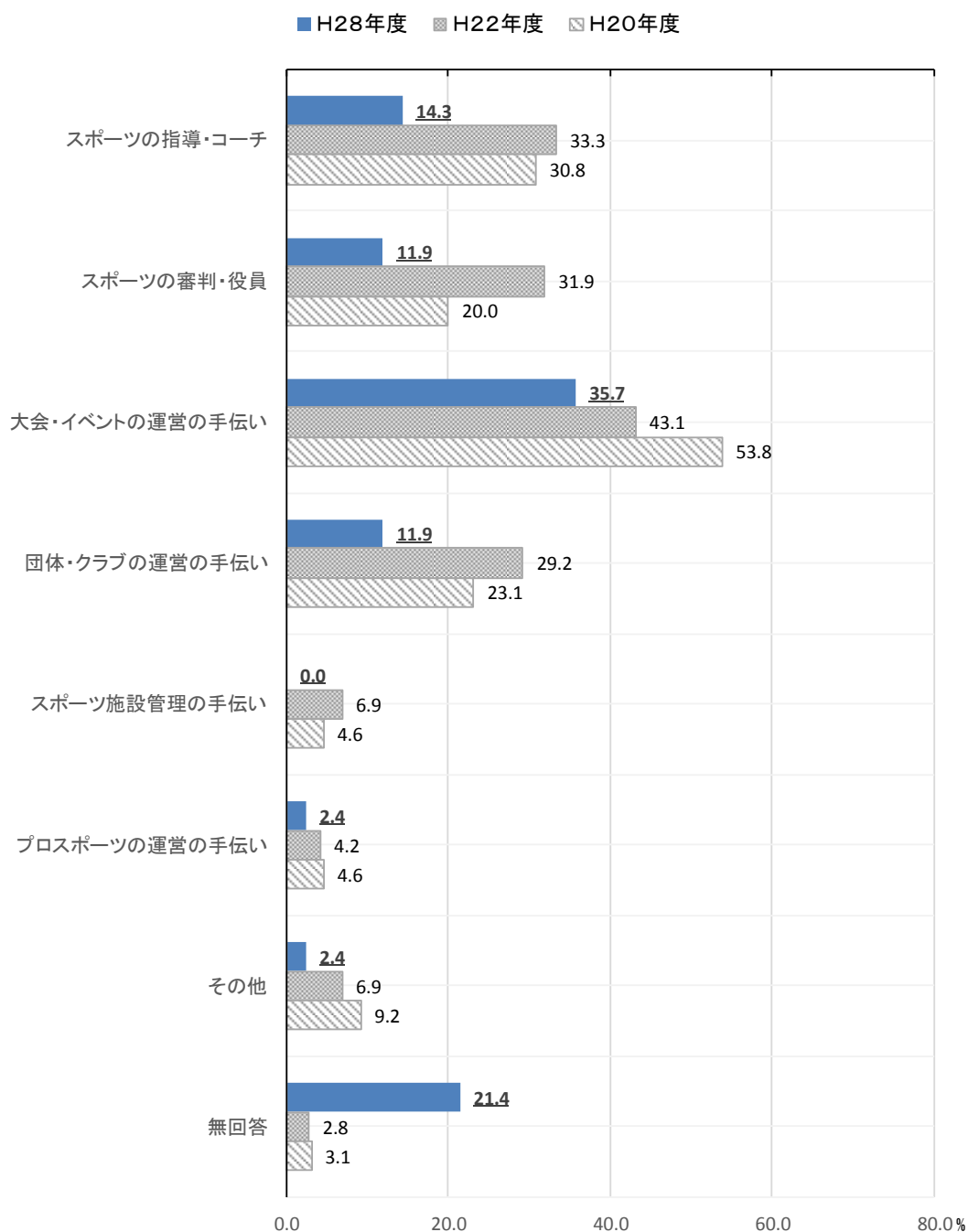
## 問35. 直近1年間に従事したスポーツボランティア活動（SA）

- 1位は過去2回同様「大会・イベントの運営の手伝い」
- 順位等、全体的な傾向に特に大きな変化はない

※当設問は今回と過去2回で設問形態が異なる（今回：単数回答設問・過去2回：複数回答設問）ため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

○今回結果を見ると、過去2回同様「大会・イベントの運営の手伝い」が1位（35.7%）。以下、「スポーツの指導・コーチ」（14.3%）、「スポーツの審判・役員」（11.9%）、「スポーツの審判・役員」・「団体・クラブの運営の手伝い」（ともに11.9%）と続く。

○設問形態の違い、実施年度ごとの割合の違いはあるが、順位等の全体的な傾向に大きな変化はない。



【 H20:N=65 H22:N=72 H28:N=42 】